

シグマ研究委員会

昭和 55 年度第 2 回運営委員会議事録

日 時 昭和 55 年 5 月 2 日 (金) 13:30 ~ 17:00
場 所 原研東海研 研 2 棟 322 号室
出 席 者 塚田(委員長, 日大), 中嶋(法大), 宮坂(核管セ),
松延(住友原工), 原田, 田中, 五十嵐(原研)
オブザーバ: 松本, 浅見(哲)(原研)

配布資料

1. 前回(55.4.4)議事録(案)
2. 昭和 56 年度概算要求
3. 昭和 55 年度旅費使用計画(案)
4. Possible Extensions of the Data Bank's Work 1980 - 1985

議 事

1. 前回議事録確認
資料(1)により確認を行った。
2. 事務局報告
 - (1) 56 年度概算要求: 資料(2)により説明があった後, 2 ~ 3 の質疑応答があった。
 - (2) 研究囑託: 北沢氏, 瑞慶覧氏に代って新たに木村氏(京大炉), 喜多尾氏(放医研)が核データセンターの研究囑託になったことが報告された。
 - (3) 1979 核データ研究会の報告書(JAERI-M 8769)が出来上った。
 - (4) ENDF/B-V の document を入手したので, 近日中にネガを作成する。
3. 55 年度旅費使用計画
浅見氏より資料(3)をもとに, シグマ研究委員会の旅費の昭和 52 ~ 54 年度の使用実績ならびに 55 年度の使用計画案の説明があり, 使用計画案は了承された。

4. 本委員会の準備

次の本委員会の期日は6月27日(金)と予定されていたが、委員長の都合により7月1日(火)に変更することになった。時間・場所は変更なし。

核データ専門誌の問題を本委員会でどのような形で検討するかについて討議が行われたが、当面は「核データニュース」誌を利用するのが適当であるとの結論に達し、実施に移すことになった。このため、投稿規定等を小委員会をつくって決めることにした。小委員会の人選は核データセンターに一任することに、また、この件を本委員会でアナウンスすることにした。

5. 遮蔽定数W.G.

宮坂氏より、委員を退くとの話があったが、核管センターでの話合いの結果、本年度も従来通り継続することになったこと及びW.G.の強化のため原研遮蔽研の川瀬氏をオブザーバーとして参加させたいとの説明があった。

6. 第4回 NEA Data Bank 委員会の議題

田中氏より資料(4)の説明があり討議を行った。とくにKarlsruhe グループからの提案である benchmark centre について多くの議論があった。

7. 1980 研究会

前回よりの継続審議として討議が行われた、小規模のものを本委員会を兼ねて行うとか covariance data に関する討論会を行う等の意見があったが、内容については改めて検討することになった。

次回は6月5日(木) 13:30より東海研で行う予定。